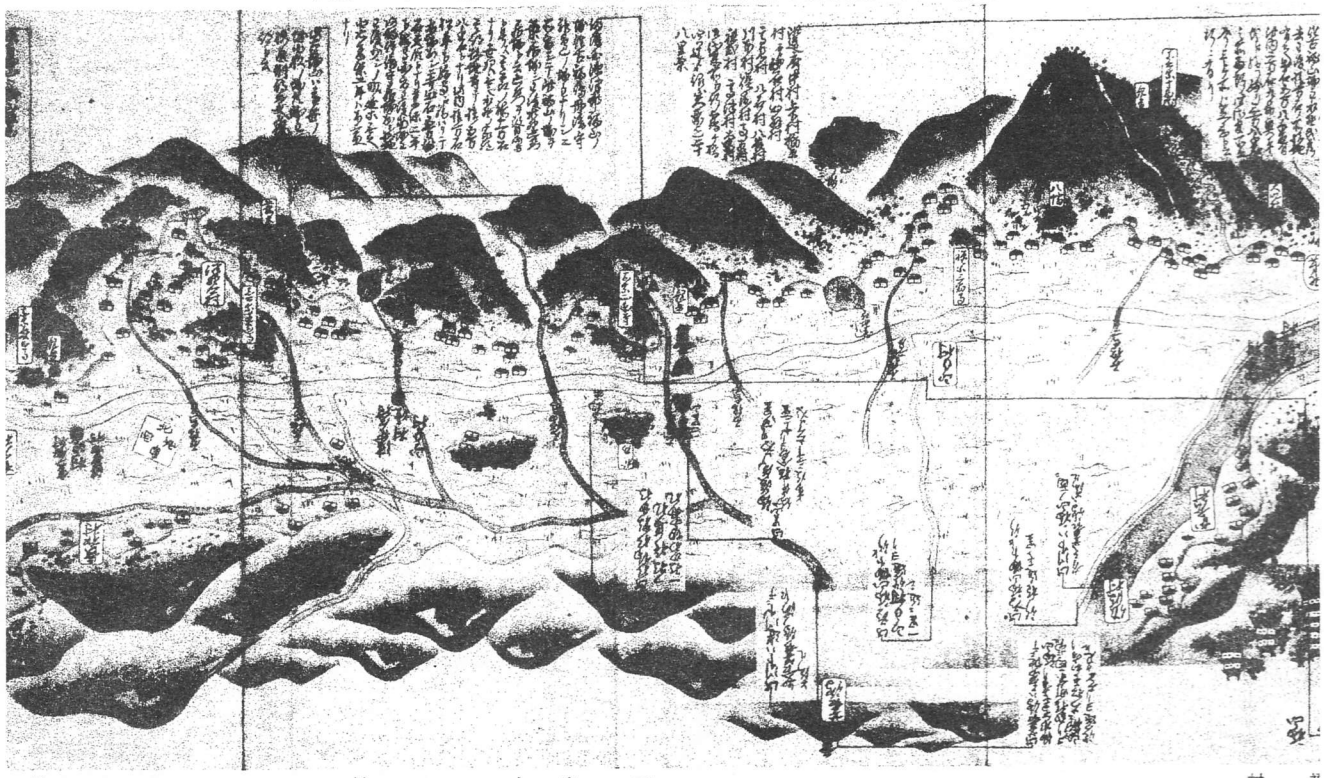
備陽史探訪の会主催

第１回旧山陽道を歩こう

平成16年12月5日　　講師　備陽史探訪の会会長　田口義之



村境　津之郷村　賀(加)屋村

村境　山手村　津之郷村

高札場

一里山

村境　郷分村　山手橋

相山坂

スケジュール

- ○ ８時４０分　横尾駅前出発
- ○ ９時３０分　郷分（石原随道・小畠氏石碑）
- ○ １０時３０分　郷分八幡神社（宮光音の墓・草木銅剣出土地）
- ○ １１時　山手八幡神社
- ○ １１時３０分　三宝寺（この付近で昼食）
- ○ １３時３０分　山手の一里塚
- ○ １４時３０分　津之郷小学校（貨泉出土地・田辺寺・坂部４号古墳）
- ○ １６時　イコーカ山古墳
- ○ １６時３０分　赤坂駅着解散

① 郷分（石原随道・小畠氏石碑）

② 郷分八幡神社（宮光音の墓・草木銅剣出土地）

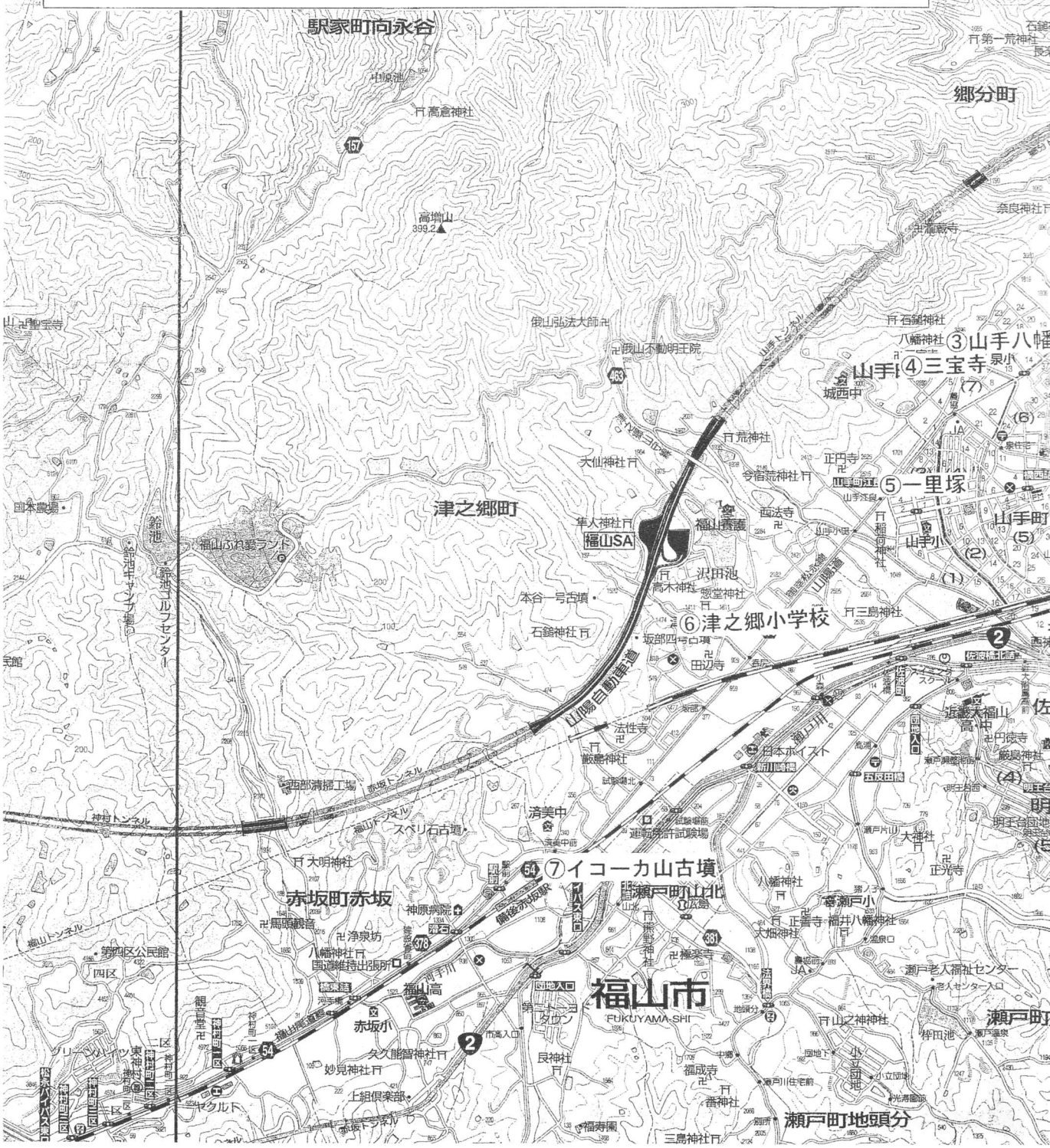
③ 山手八幡神社

④ 三宝寺（この付近で昼食）

⑤ 山手の一里塚

⑥ 津之郷小学校（貨泉出土地・田辺寺・坂部４号古墳）

⑦ イコーカ山古墳



①郷分
②郷分八幡社
駅家町下山守
御幸町中津原
横尾町
千田町千田
千田町坂田
千田町數路
福塩線
蔵王町
福山東IC
奈良津町
緑陽町
向陽町
久松台
高美台
北美台
北吉津町
木之庄町
北本庄
市立女子短大
西深津町
東深津町
三吉町
南蔵王町
本庄町中
西町
丸之内
南本庄
神島町
福山市役所
福山城
人船町
港町
手城町
南手城町
東川口町
緑町
草戸町
沖野上町
多治米町
川口町
千代田町
明王台
左波町
明王院
曙町

旧山陽道を歩く

江戸時代までの一級国道旧山陽道は、備中高屋宿から備後に入り、神辺から南下して横尾で城下に通ずる街道と分れ、郷分大渡橋で芦田川を渡り、山手・津之郷・赤坂を通って松永の今津に抜けていた。昭和初年の芦田川の改修工事によって一部往時の面影を失っているが、山手町に入ると当時の街道がそのまま県道となり、現在でも国道２号線の裏道として頻繁に利用されている。

旧街道の散策は、自家用車を利用せず、自分の足で歩くのが最高である。福山駅前からだと中国バス「谷尻」行を利用する。芦田川を渡れば、どの停留所で降りてもよいが、分かりやすいのは「山郷農協前」だ。降り立った停留所の前の、東西に走る道路が旧山陽道である。

まず訪ねて見たいのは、豊臣秀吉が朝鮮出兵の途中、宿泊したという大鏡山三宝寺である。停留所から西に少し行って最初の交差点を右折する。車がやっと通れる位の道を北に歩けば、丘の中腹に２階建の山門が見えて来る。三宝寺は、室町・戦国時代、この地に居城した杉原氏の菩提寺として繁栄した寺院だ。もとは臨済宗であったが、江戸時代には曹洞宗に改宗され現在に至っている。秀吉が宿泊したのは、文禄元年（1592）４月９日と伝わっており、門前には「太閤屋敷」の地名が残り、往時をしのばせてくれる。

ここからもと来た道を引き返し、道路標識の立つ小さな交差点を右折し、しばらく田圃の中の小道を行くと、前方に枝の茂った榎（えのき）の大木が見えて来る。旧山陽道の一里塚である。かつて、神辺・今津間に七カ所設けられていたという一里塚も、戦後急速に消えて行き、現在残るのはここだけになってしまった。

榎の木陰で一休みし、しばらく旧山陽道を西に行くと、右手に山頂を平らにした険しい山が見えて来る。これが戦国時代、付近一帯を支配した杉原氏の居城「銀山城跡」である。登り口は、一里塚から約500メートル程進み、「弘法入口」の看板を右折する。約２キロ登り、突き当たりを右折、700 メートル程進んで左手の山頂を目指す。

山上は荒れているが、平らな曲輪（くるわ）の跡や石垣、それに井戸の跡が残り、山城マニアなら一度は登りたい山城跡である。ただし、案内板などは一切ないので、地理に詳しい人の同行がなければ止めておこう。山城跡はあきらめて、「弘法の水」で一服、眼下の景色を楽しむのもわるくない。「弘法の水」は、弘法大師の伝説で知られ、現在でも霊水を求めて訪れる人が後を断たない。

次の目的地は、豊臣秀吉と足利義昭の歴史的な会見の舞台となった真言宗田辺寺（でんぺいじ）である。「弘法入口」からさらに500メートル程歩くと道は右手の山から流れでた天井川の土手を越えるが、この土手を右折し、最初の橋を左に渡れば、お寺の屋根が見えて来る。

天正元年（1572）、織田信長に追われた最後の将軍足利義昭は、天正４年（1576）、安芸の毛利氏を頼って備後の鞆に流れて来た。義昭はしばらく鞆にいたが、やがて津之郷に移った。

室町幕府再興に執念を燃やした義昭も、時の流れには逆らえなかった。天正一五年（一五八七）三月、九州平定に向かう秀吉とこの寺の一室で会見し、やがて野心を捨て京都に帰るのである。かつて、自分の前に平伏した人物に頭を下げなければならなかった義昭の胸中は、いかばかりであったろうか。

なお、田辺寺の門前は、奈良・平安時代に栄えた和光寺の旧跡（県史跡）で、境内には塔の中心礎石も残っている。津之郷は、その名の通り古代の「津」（港）として繁栄したところ。北西の山麓には古墳時代の坂部古墳群（福山市史跡）も残っている。時間があれば足を延ばして欲しい。（田口義之）